

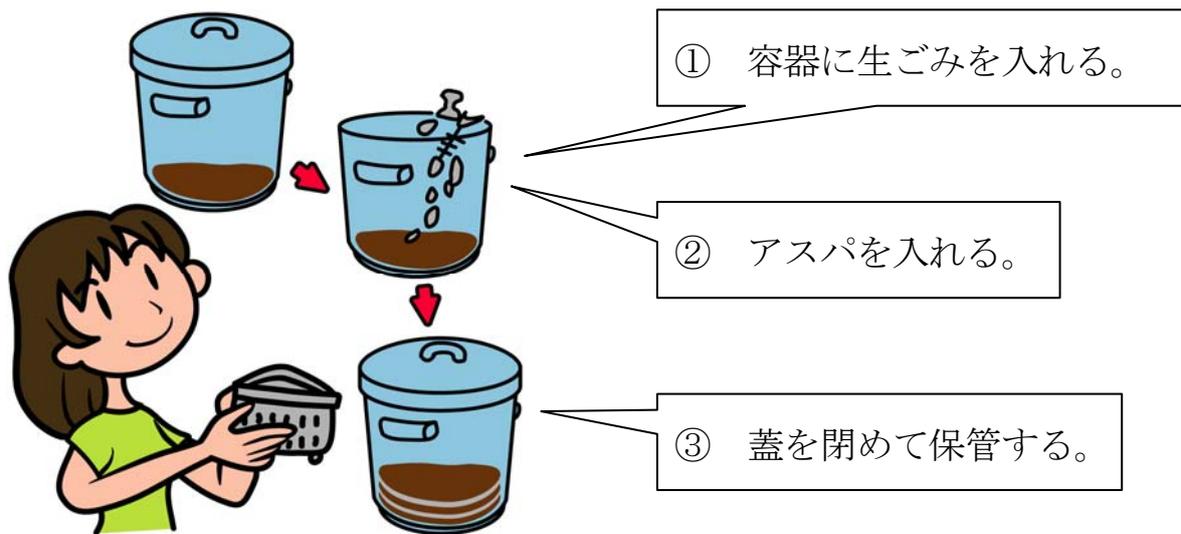
生ごみのアスパ処理の方法

《作り方》

① 水を切った生ごみを密閉式の容器に入れ、その上にアスパ10～20グラム程度を全体に分散するようにふりかけ、蓋をしっかりと閉め、密閉します。

② ①の処理を繰り返し行い、容器に生ごみがいっぱいになったら密封したまま、直射日光の当たらない場所に放置します。
※発酵してガスが発生するので、蓋が閉まっていることを1日1回は確認してください。

③ 約10日間経過するとガスの発生が止まり、発酵が完了し発酵肥料となります。



※①～③を繰り返す。

※容器の7～8分目まで生ごみが溜まったら10日間程置いておくと、生ごみのアスパ処理（良質の発酵堆肥）の出来上がり。

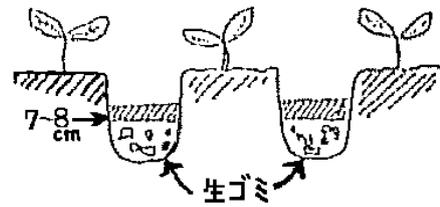
《アスパの取り扱いのポイント》

- ◎湿気を持たせない
- ◎直射日光に当てない

《生ごみのアスパ処理後の有機肥料の利用のしかた》

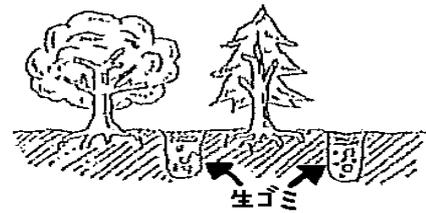
1 畑

畝と畝の間に入れ、その上に7～8 cm程度の土を盛る。



2 庭

庭木の場合は所々に穴を掘って埋める程度でよい。



3 プランター

土を1/3程度入れ、上に生ごみを入れる。

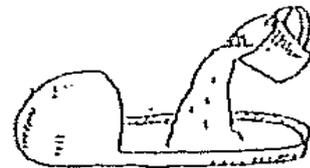
その上に土をかぶせ1週間以上たってから種、苗を植える。



4 汲み取り式トイレ

コップ1杯程度の液肥をそのまま入れる。

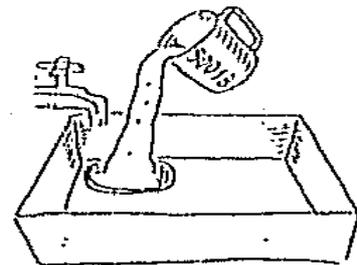
臭いが消えます。



5 下水道

液肥を500倍に薄め、台所の流しやトイレから

1～2週間に1回1～2ℓ流す。



6 池、川、溝

液肥をそのまま流すと澄んだきれいな水になります。



◎アスパは、各地区コミュニティセンター、ふれあいセンター、役場などで無料配布（1人2袋まで）しています。